

児島湖ヨシのリサイクル事業

1. 事業の概要

ヨシ群落は、児島湖の水鳥・魚類の繁殖の場として重要な役割を担っており、このヨシ群落を良好な状態に保つためには、枯死茎の刈取りによる株の再生を行うことが必要とされています。また、湖水に含まれる窒素分やリン分を吸収して成長するヨシを冬季に刈り取り、持ち出しすることが児島湖の水質保全に役立ちます。

そこで、ヨシの刈取り及びごみの清掃を行うとともに、刈り取ったヨシを廃棄物として処分するのではなく、リサイクルし、有効に活用しました。また、小中校生にそれらの一部を体験する機会を設けて、環境保全意識の啓発を図りました。

2. 平成24年度実績

(1) ヨシの刈取り及びごみの回収

平成24年度は、総面積39,125m²、総重量53,000kgのヨシを刈取りました。また、ヨシの刈取りとともにごみの回収作業を行い、ビン類や缶類などの不燃物約220kgを回収し、民間処理施設で処理しました。

《ヨシの刈取り（岡山市北区北七区）》



《回収した不燃ゴミ》



(2) ヨシを活用したリサイクル品

刈り取ったヨシを「バイオマス資源」としてリサイクルすることで、廃棄物を使用した製品開発や再生資材の利用を促進し、広くその利活用方途の普及を図りました。

その再生利用の一環として、マルチング材（土表面に敷き詰め、土の乾燥や雑草の繁殖を防ぐ）や堆肥として利用しました。また、刈り取ったヨシとプラスチックを材料にヨシ箸を作成し、飲食店に配付することで児島湖ヨシのPRを行いました。

その他にも、茅葺き屋根の材料や田圃の暗渠排水材料として利用されています。その内訳は以下のとおりです。

【利用方法】

マルチング材	13,000 kg
千両ナス栽培（支柱、堆肥等）	23,400 kg
ヨシ箸	1,000 kg
茅葺き屋根	4,800 kg
その他農業用資材（堆肥を含む）	10,800 kg
計	53,000 kg

《マルチング材として利用》



《千両ナスの堆肥として利用》



《飲食店に配布したヨシを材料にしたヨシ箸》



(3) ヨシ刈り体験・リサイクル体験

児島湖に親しんでもらうとともに、環境保全意識の啓発を図るために、中高生を対象にヨシの刈り体験を実施し、小学生を対象にヨシを利用したリサイクル体験（工作教室）を実施しました。

《ヨシ刈り体験を行う八浜中学校の皆さん》

ア ヨシ刈り体験

岡山県立津山工業高等学校工業化学科の1年生40名と玉野市立八浜中学校の1年生18名にヨシの刈り体験を体験してもらいました。



イ リサイクル体験（工作教室）

刈り取ったヨシを利用して、ヨシ笛やペン立てなどの工作に取り組んでももらいました。岡山市立七区小学校で行われたヨシ工作教室には3年生児童25人及び保護者・近隣住人の方々に参加していただきました。真庭市立川東小学校で行われた工作教室には4年生児童25人に参加していただきました。

《ヨシの工作を行う 七区小学校の皆さん》



《ヨシを使った笛や ペン立て、額等》



担当部署

環境文化部 環境管理課 水環境湖沼保全班